

ナミックス株式会社（新潟県）

～ 常に研究開発を知的財産に高める努力 ～

1. ナミックスは日本海の波を見ながら発展している

ナミックスは、昭和22年に「北陸塗料株式会社」という名称で塗料メーカーとしてスタートし、その後、エレクトロケミカル材料の製造に転換しながら業績を伸ばしてきた。

会社名の「ナミックス」は日本海の荒波（ナミ）から名付けたと思われがちだが、実は、Nature & Art（自然と人間の共存共栄）、Mutual Prosperity（相互の繁栄）、Innovation（革新的）、Creativity（創造的）、Sensitivity（感受性）という経営コンセプトの頭文字NAMICSからつけた。エレクトロニクス関連技術の進歩は目覚ましく、会社を挙げて先端技術の研究開発を行っているが、人間にとって良い製品であると同時に自然・環境に優しい製品でなければならない。常に自然と調和した未来を創造していく、という理念で名付けたものだ。

ナミックスの開発した導電材料・絶縁材料は、現在、液晶テレビ、プラズマテレビ、携帯電話、パソコン等の最先端電子部品に多く使用されている。欧米、中国、東南アジアに子会社・事業所を持ち、世界の主要電子部品メーカーに材料を提供している。最近20年間で売上げを5倍以上に伸ばしており、世界シェアNO.1を獲得している製品は5品種にもものぼる。

今後も更に研究開発を進め、理念に沿った新技術・信頼される製品を提供していくつもりだ。

2. すべての研究開発は知的財産に通じる

ナミックスの技術がNO.1シェアを獲得することには理由がある。高い技術が知的財産権で守られているからだ。知的財産を管理する組織として専任4名の知財グループを置いている。このほか技術本部にも6名の知財担当者（兼任）がおり、約50名の研究者の研究成果を特許権として結実させている。

製品が中間材料のため、模倣されても発見できないこともあり、以前は、特許出願をせずに公証役場で証拠書類等について確定日付を所得し、ノウハウとして秘匿していた。年間数百件なされる発明提案のうち、質の高い半分くらいについて公証制度を活用していたため、特許侵害で警告を受けた際にも、先使用权を主張して退けることができた。

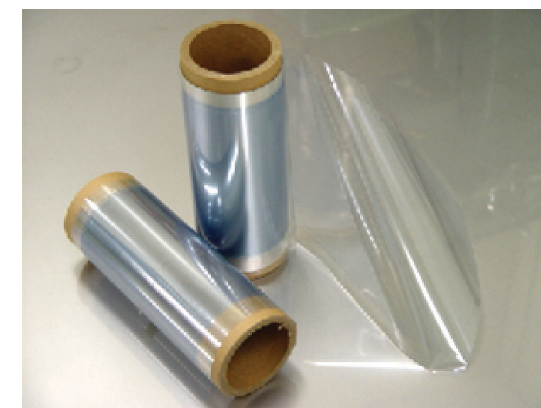
しかし、近年の分析技術の向上によって、最終製品を調べれば当社と同じ技術が使われているかどうか判別できるようになったため、3年ほど前からはできるだけ出願して特許を取得する方向に転換した。これまで技術流出の恐れから出願していなかった中間材料についても、このような理由から出願を行っている。提案された発明を最終的に特許とすべきかノウハウとすべきかは、研究開発部門長と知財グループとの協議

で決定している。

会社を挙げて出願を奨励しており、技術者には1人当たり年間3件の発明提案がノルマであり、提案された発明のうちノウハウとして秘匿するものを除いて、年間30件出願することが目標である。海外事業展開に併せて外国出願も増やす予定だ。

研究開発型企業であるナミックスは、今後も新技術を次々と生み出し、それらを知的財産権として活用することにより、エレクトロケミカル材料の分野でトップを走り続ける。

【保有権利に基づく製品例】



低誘電率フィルム「ADFLEMA」



導電ペースト「UNIMEC」

<会社概要>

名称及び代表者名	ナミックス株式会社 代表取締役社長 小田嶋 壽信
本社所在地	新潟県新潟市北区濁川3993番地
創業	1947（昭和22）年
資本金	7,500万円
従業員数	371名
主要製品	絶縁性及び導電性エレクトロケミカル材料
電話	025-258-5577
URL	http://www.namics.co.jp/